令和５年２月定例会

建 設 委 員 会 資 料
（　環　境　部　）

建設委員会資料
令和５年３月１０日
環境総務課

秋田市環境基本計画の中間見直しについて

１　概要

標記計画の中間見直しについては、令和４年１２月１６日（金）から令和５年１月１６日（月）にかけて意見公募等を実施したところです。

意見公募等を受けての対応は、素案を大きく変更する内容はなく、必要な修正等を実施し、最終案を別紙（案）のとおりとりまとめ、改定しようとするものです。

２　意見公募等について

(1) 実施方法

市民１００人会での意見聴取およびパブリックコメントの実施

(2) 提出意見

１２名１９件

３　素案からの主な変更点

該当項目	意見要旨	変更点
Ｐ６４ 第５章 施策１	「豊かな生物多様性の象徴であるホタルの生息状況調査を市民参加で～」とあるが、生物多様性の象徴とホタルは対応していないと思われます。	「豊かな里山環境の象徴であるホタルの生息状況調査を市民参加で」と修正します。
Ｐ６４ 第５章 施策２	「野生生物の保護」は、「希少野生動植物の保護」が適当ではないでしょうか。	いただいた意見のとおり修正します。

４　今後のスケジュール

令和５年３月末　改定・公表

建設委員会資料
令和５年３月１０日
環境総務課

秋田市地球温暖化対策実行計画の見直しについて

１　概要

秋田市地球温暖化対策実行計画の見直しについては、令和４年１２月１６日（金）から令和５年１月１６日（月）にかけて意見公募等を実施したところです。

意見公募で寄せられた意見も参考に、秋田市地球温暖化対策実行計画策定等協議会で協議を重ね、必要な修正等を実施し、別紙（案）のとおり改定しようとするものです。

２　意見公募等について

(1)　募集方法

市民１００人会での意見聴取およびパブリックコメントの実施

(2)　提出意見

８名３５件

３　素案からの主な変更点

該当項目	意見要旨	変更点
Ｐ３９ 第５章 ３　対策と施策	「脱炭素先行地域」に関する事業は、本計画の目玉だと思いますが、この事業の展望について記述が少ないので加筆してはどうでしょうか。	今後の展望として、脱炭素先行地域における再生可能エネルギーを最大限活用するための手法等を、他のエリアにも展開する旨の記載を追加します。
Ｐ４７ 第５章 参考	参考　１メガソーラー、２地中熱ヒートポンプともに興味深い資料ですが、市民等の積極的な導入を後押しするような表現に文章を推敲してはどうでしょうか。	市民等の導入の参考となるよう、身近な導入例を示す旨の説明を追加し、太陽光発電が全国平均と比較し遜色ないという旨の表現に変更します。

４　秋田市ゼロカーボンシティ宣言に伴う変更

宣言に合わせて、計画の表紙にサブタイトルを追加するとともに、Ｐ２９の「カーボンニュートラルの実現に向け」との一般的な表現を、ゼロカーボンシティの実現を目指す旨の表現に変更します。また、宣言文を資料編へ追加します。

５　今後のスケジュール

令和５年３月末　改定・公表

建 設 委 員 会 資 料
令和５年３月１０日
環 境 都 市 推 進 課

秋田市食品ロス削減推進計画の新規策定について

１　概要

標記計画（素案）については、令和４年１２月１６日(金)から令和５年１月１６日（月）にかけて意見公募等を実施したところです。

意見公募等を受けての対応は、素案を大きく変更する内容はなく、必要な修正等を実施し、原案を別紙(案)のとおりとりまとめ、策定しようとするものです。

２　意見公募等について

(1) 実施方法

市民１００人会での意見聴取およびパブリックコメントの実施

(2) 提出意見

２４名４３件
（すべて市民１００人会からの提出意見）

３　主な意見と対応について

裏面５のとおり

４　今後のスケジュール

令和５年３月末　策定・公表

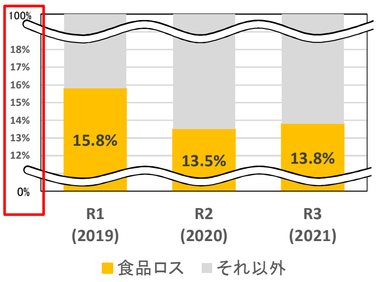
５　素案に対する主な意見と対応

第2章　現状と課題

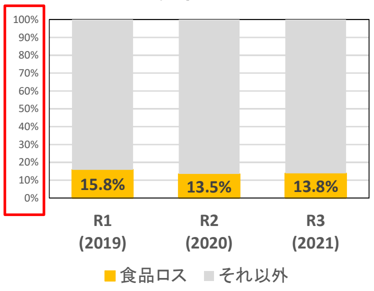
No	意見	修正有無	意見に対する市の考え方
9	Ｐ１１ ・図表１８に記載される推移が横ばいで家庭ごみに対しての食品ロス実態調査は事業として今後必要なのかは問われます。 ・環境省の指示からという事に察しつつ自治体のほうで、定期的に実態把握し、引き続き情報発信していただければ成果として評価されるのではないかと思います。	有	・図表１８については、縦軸の値が大きく変化がわかりにくいという意見を踏まえ、修正いたします。 ・今後も、食品ロス実態調査の結果を活用し、内容をわかりやすく啓発資材に活用するなど、食品ロスの発生抑制に努めてまいります。（環境都市推進課）

【新旧対照表】Ｐ１１図表１８「家庭ごみ」に占める「食品ロス」の割合

修正案



現行



No	意見	修正有無	意見に対する市の考え方
21	Ｐ１９ ・写真で食品の多さに驚いたが、どれくらいの世帯から出た量なのかが記載されていると多いのか、少ないのかの目安になるのではないか。	有	・Ｐ１９図表３９掲載の食品ロスは、家庭ごみ１００袋の開封調査による結果となっております。ご指摘を踏まえ、調査の実施規模について、図表３９の説明文に追記いたします。（環境都市推進課）

【新旧対照表】Ｐ１９図表３９

修正案

図表39　令和3年（2021）年11月に本市が実施した食品ロス実態調査の際に確認した手付かずで廃棄されていた食品（家庭ごみ100袋の開封調査による結果）

現行

図表39　令和3年（2021）年11月に本市が実施した食品ロス実態調査の際に確認した手付かずで廃棄されていた食品

第3章　計画の目指すもの

No	意見	修正有無	意見に対する市の考え方
31	Ｐ２３、Ｐ２４ ・国、県と秋田市がどのように異なり、目標値を設定したのか具体的に示すべきでないか。（目標値ありきのように思う。）	無	・目標値設定にあたっては、計画Ｐ23Ｐ24に記載のとおり、国の値に比べて、本県本市は多いという現状認識のもと、その削減率を上回る目標値の設定が必要であることが考え方の基本になっております。そうした認識を前提に、ごみの減量目標（令和７年度で一人１日当たり４８０ｇ）等との整合を図り、計画記載の目標値を設定したものであります。（環境都市推進課）